



平成 17 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 16 年 7 月 26 日

上場会社名 日本農産工業株式会社

（コード番号：2051 東証・大証 第一部）

（URL <http://www.nosan.co.jp>）

代表者 代表取締役社長 三好 正俊

問合せ先責任者 執行役員経理部長 富沢 健

（TEL：(045) 224 3703）

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

（内容）

・法人税等の処理・・・法定実効税率をベースとした簡便な方法によっています。

・その他影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続きを用いています。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 17 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 6 月 30 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

（注）金額は百万円未満を切り捨て

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 3 月期第 1 四半期	30,154	(14.1)	480	(18.8)	472	(16.9)	219	(17.7)
16 年 3 月期第 1 四半期	26,428	()	591	()	568	()	267	()
(参考)16 年 3 月期	109,388		2,324		2,056		1,084	

	1 株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17 年 3 月期第 1 四半期	1	79	1	79
16 年 3 月期第 1 四半期	2	16	2	16
(参考)16 年 3 月期	8	61	8	61

（注）売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しています。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当連結第 1 四半期におけるわが国経済は、米国、中国など海外経済が高めの成長を続けるなか、国内の生産、設備投資など企業部門の好循環の影響が家計部門にも及んできたと言われながら、消費者物価はまだ前年比マイナスで推移するなど、なお緩やかなデフレが続く状況にあります。

飼料・畜産業界においては、飼料原料等の高騰により本年 4 月に畜産飼料価格の値上げを実施しました。一方、畜産物相場は前期の歴史的安値からは脱出しつつあるものの、畜産物生産者の経営環境はまだまだ厳しい状況が続いています。

これらを背景に事業別状況は以下のとおりです。

【飼料事業】

畜産飼料の売上高は、値上げ及び販売数量の増加で前年同四半期を上回りましたが、飼料価格安定基金の財源減少により、本年 4 月よりトン当り 500 円の積み増しが始まり、前年同四半期に比べ新たなコストアップ要因となっています。

水産飼料は銀鮭用、はまち用を中心に拡販努力が実を結び販売数量は、前年同四半期 110%と前期に引き続き好調を維持しています。

【食品事業】

鶏卵相場は、前年同四半期実績 145 円/kg をやや上回る 164 円/kg となるなか、パック入りヨード卵は、鮮度・環境に配慮した新パッケージ採用やトレーサビリティの充実など、品質管理の向上に努めています。長引くデフレ下において消費者の低価格志向は続いているものの、一方で安全・安心に対する関心度が高まっていることによる数量回復のほか業務用の伸長もあり、販売数量は前年同四半期 102.4%となりました。

【ライフテック事業】

ペットフードは、動物病院向けフードが順調に売上を伸ばし、また、犬用フードも前年同四半期を上回ったものの、猫用フードなどが伸び悩んだため、減収となりました。

バイオ新分野は、ADME/Tox（薬物動態及び毒性試験）分野の研究用試薬マイクロソームが前期に引き続き成長軌道にあり、生殖医療分野の細胞用培地も順調に伸長しています。また、タンパク発現分野の受注高は順調に増加していますが、売上高への影響は第2四半期以降になる見込みです。

以上の結果、売上高は5月13日発表の当連結業績予想における中間期の2分の1をクリアしましたが、経常利益、純利益はやや低調に推移しました。

- ・売上高 301 億円（当中間期連結業績予想に対する進捗率 50.3%）
- ・経常利益 472 百万円（同進捗率 42.9%）
- ・四半期純利益 219 百万円（同進捗率 33.8%）

(2) 財政状態（連結）の変動状況

(注) 金額は百万円未満を切り捨て

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第1四半期	60,021	18,848	31.4	153 95
16年3月期第1四半期	57,461	18,083	31.5	146 22
(参考)16年3月期	57,777	19,433	33.6	157 47

【連結キャッシュ・フローの状況】

(注) 金額は百万円未満を切り捨て

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第1四半期	1,407	970	2,434	490
16年3月期第1四半期	172	304	723	1,118
(参考)16年3月期	3,701	822	4,419	433

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

総資産は平成16年3月末と比較して2,244百万円増加し、株主資本が584百万円減少した結果、株主資本比率は2.2%悪化しました。

増減の主なものは、資産では受取手形及び売掛金が1,618百万円増加しました。負債では、長短借入金3,033百万円増加し、未払法人税等が609百万円減少しました。

(連結キャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前第1四半期純利益395百万円及び減価償却費648百万円があったものの、売上債権の増加1,618百万円、法人税等の支払702百万円などがあったことにより、1,407百万円の減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産の取得による支出934百万円などにより970百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払343百万円、自己株式の取得170百万円があったものの、借入金の増加3,031百万円などにより、2,434百万円の増加となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当連結第1四半期末残高は490百万円となり、前期末に比べ56百万円の増加となりました。

3. 平成17年3月期の連結業績予想（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

業績予想の変更はありません。

[業績予想に関する定性的情報等]

当社グループの経営環境は、飼料事業での飼料価格安定基金の積み増し等によるコストアップがありますが、販売体制の見直しによる利益率の改善などに努め、更なる収益体制の構築に取り組んでまいります。よって、5月13日に発表した中間期及び通期の業績予想は据え置きます。

四半期連結(要約)貸借対照表

(単位：百万円)

資 産 の 部	当第1四半期 (16.6.30)	前期末 (16.3.31)	比較増減	前第1四半期 (15.6.30)	負債・資本の部	当第1四半期 (16.6.30)	前期末 (16.3.31)	比較増減	前第1四半期 (15.6.30)
流動資産	29,216	26,910	2,305	26,841	流動負債	32,492	29,284	3,208	31,849
現金及び預金	490	433	56	1,118	支払手形及び買掛金	12,924	12,590	333	10,862
受取手形及び売掛金	19,123	17,505	1,618	16,925	短期借入金	14,312	11,054	3,257	15,711
たな卸資産	5,879	5,646	232	5,715	その他	5,255	5,638	383	5,275
その他	3,952	3,490	462	3,285					
貸倒引当金	229	165	63	204	固定負債	8,680	9,060	379	7,528
					長期借入金	5,954	6,178	224	4,767
固定資産	30,805	30,866	61	30,620	退職給付引当金	1,747	1,883	135	2,244
1有形固定資産	21,516	21,719	202	21,866	その他	978	997	19	516
建物及び構築物	8,654	8,664	9	8,896					
機械装置及び運搬具	6,585	6,857	272	6,638	負債合計	41,172	38,344	2,828	39,378
土地	5,483	5,483	-	5,420	少数株主持分	-	-	-	-
その他	793	714	78	911					
2無形固定資産	348	163	184	148	資本金	7,411	7,411	-	7,411
3投資その他の資産	8,940	8,983	43	8,604	資本剰余金	2,731	2,731	-	2,731
投資有価証券	6,283	6,372	89	5,929	利益剰余金	8,972	9,327	355	8,510
その他	2,938	2,892	46	2,812	その他有価証券 評価差額金	923	981	58	373
貸倒引当金	281	280	0	137	自己株式	1,190	1,019	170	944
					資本合計	18,848	19,433	584	18,083
資産合計	60,021	57,777	2,244	57,461	負債・少数株主持分 及び資本合計	60,021	57,777	2,244	57,461

四半期連結(要約)損益計算書

(単位：百万円)

摘 要	当第1四半期 自 16. 4. 1 至 16. 6.30	前第1四半期 自 15. 4. 1 至 15. 6.30	比較増減	前 期 自 15. 4. 1 至 16. 3.31
売 上 高	30,154	26,428	3,726	109,388
売 上 原 価	26,045	22,262	3,783	92,653
(売 上 総 利 益)	(4,109)	(4,165)	(56)	(16,735)
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	3,629	3,574	54	14,410
営 業 利 益	480	591	111	2,324
営 業 外 収 益	90	117	27	305
受 取 利 息 及 び 配 当 金	48	59	11	117
そ の 他	41	57	15	187
営 業 外 費 用	98	140	42	573
支 払 利 息	73	77	3	306
そ の 他	24	62	38	267
経 常 利 益	472	568	96	2,056
特 別 利 益	-	47	47	473
固 定 資 産 売 却 益	-	47	47	383
そ の 他	-	-	-	90
特 別 損 失	77	51	25	563
固 定 資 産 売 除 却 損	6	11	5	168
そ の 他	71	40	30	394
税金等調整前第1四半期(当期)純利益	395	563	168	1,965
法人税、住民税及び事業税	173	297	123	881
少数株主利益	1	0	2	0
第1四半期(当期)純利益	219	267	47	1,084

(注) 第1四半期における税金費用については、簡便法により計算しているため、「法人税等調整額」は、「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

四半期連結(要約)キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

項 目	当第1四半期	前第1四半期	前 期
	自 16. 4. 1 至 16. 6.30	自 15. 4. 1 至 15. 6.30	自 15. 4. 1 至 16. 3.31
営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 税金等調整前第1四半期(当期)純利益	395	563	1,965
2. 税引前利益の調整			
減価償却費	648	572	2,452
引当金の減少	89	131	325
その他の増減	23	34	13
3. 資産及び負債の増減			
売上債権の増減	1,618	50	705
棚卸資産の増減	234	111	162
その他の流動資産の増加	392	254	416
仕入債務の増減	333	184	1,542
その他の流動負債の増減	228	247	425
4. 法人税等の支払額	702	340	535
合 計	1,407	172	3,701
投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 固定資産の取得	934	360	2,144
2. 固定資産の売却	5	41	536
3. 投資有価証券等の増減	0	0	658
4. 貸付金の増減	28	8	208
5. その他投資等の増減	12	6	82
合 計	970	304	822
財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 短期借入金の増減	3,290	900	5,620
2. 長期借入金の実行	240	1,070	4,037
3. 長期借入金の返済	498	471	1,954
4. 配当金の支払	343	322	498
5. 自己株式の取得	170	0	75
6. その他	83	99	307
合 計	2,434	723	4,419
現金及び現金同等物の増減額	56	854	1,540
現金及び現金同等物の期首残高	433	1,973	1,973
現金及び現金同等物の第1四半期(期末)残高	490	1,118	433

セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

当四半期

(単位：百万円)

摘 要	当 第 1 四 半 期 (自平成16年4月1日 至平成16年6月30日)						
	飼 料 食 品 事 業 事 業	飼 料 食 品 事 業 事 業	ライフテック 事 業	そ の 他 事 業	計	消去又は 全 社	連 結
売 上 高	24,089	3,807	2,698	278	30,874	(719)	30,154
営 業 費 用	23,367	3,750	2,661	284	30,063	(388)	29,674
営業利益又は営業損失()	722	57	36	5	810	(330)	480

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、製品の種類・性質及び市場の類似性を考慮して区分しています。

2. 各事業の主な製品及び事業内容

- (1) 飼 料 事 業・・・鶏用飼料、豚用飼料、牛用飼料及び魚用飼料
- (2) 食 品 事 業・・・ヨード卵、ヨード卵関連商品、鶏卵
- (3) ライフテック事業・・・ペットフード、馬用飼料、実験動物及び実験動物用飼料、バイオ関連商品
- (4) そ の 他 事 業・・・建築請負、不動産管理及び役務等

2. 所在地別セグメント情報

本国以外での売上高及び営業損益はありません。

3. 海外売上高

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しました。